

Cover Eyewear

CERF BOIS

Cover Design

Hidetaka Koyanagi (RAIDENSHA)

Cover Photo

Takeshi Shinto

Cover Styling

Hiroimi Toh

Design

Hidetaka Koyanagi (RAIDENSHA)

Yuya Hashizume

Tamao Ito

Ryo Takahashi

Shunichi Sakai

- 7 気になる眼鏡情報LOVE GLASSES
- 13 EVE un BLUE 感覚で眼鏡を選ぶという新しい提案
- 17 theo 今季の新作は「ヌードル」シリーズ
- 22 来日デザイナーによるMy Favorite Japan

特集

28 silmo 2017

- 30 シルモ・パリ50年の歩み — シルモドール受賞ブランド年表 —
- 36 大御所デザイナーによる話題の新ブランドふたつとは?
- 38 50周年ピックアップブランド
- 46 フレームカタログ
- 51 異業種や意外な組み合わせも。コラボフレーム
- 54 シルモへ行ったら日本未上陸チョコのお土産はいかが?
- 56 モード・オプティーク初お目見えブランド
- 57 デザイナー、バイヤーに聞く、シルモ思い出コメント
- 58 **ロングインタビュー1** theo | ウィム&ミク・ソーメルス
- 60 **ロングインタビュー2** lafont | トーマ&マチュー・ラフォン
- 62 **ロングインタビュー3** TRACTION PRODUCTIONS | チェリー・グロス

特別企画 リンドバーグを紐解く

65 高級素材アイウェア

高い理由がそこにはある

- 65 大東駿介、ワンランク上の眼鏡を纏う
- 74 フランス人間国宝・べっ甲眼鏡職人 クリスティアン・ボネ インタビュー
- 76 素材を活かす手仕事・工場取材
べっ甲、ゴールド、バッファローホーン

85 日本の展示会

- 85 iOFT
- 105 SITE
- 112 LIGHT BOX EYEWEAR COLLECTION

- 116 JUST WEAR IT! 新作眼鏡紹介
- 126 ニューショップ
- 127 問い合わせリスト
- 128 バックナンバー紹介

© WORLD PHOTO PRESS

(禁・無断転載)

平成30年1月20日発行

●今号で掲載している眼鏡フレーム・サングラスに関する問い合わせは、127ページの【メーカー&ショップ問い合わせ先リスト】をご覧ください。

●掲載されている商品の価格は、2017年11月現在の調べによるものです。また基本的に消費税を含んだ税込み価格の表示です。

来日デザイナーによる My Favorite Japan

来日したデザイナーに、日本の好きな場所や好きなもの、行ってみたいところなどをインタビュー。そこへ一緒に行くと、展示会でお会いするときとは異なる一面をみることができました。

Photo/徳永 彩 Tokunaga Aya

Mr.Leight デザイナー

ラリー・レイト(左)

ギャレット・レイト(右)



等々力溪谷

都会のオアシス

2018年本格デビューを予定している、ラリー・レイト氏とギャレット・レイト氏親子によるブランド「Mr.Leight」(ブランドについてはP7参照)。この場所はギャレット氏が5年程前に訪れ、都会の喧騒から離れ静かな時間を過ごせると気に入ったという。初めて訪れたラリー氏も心地よいマイナスイオンを体感されていた。ラリー氏の初来日は1985年。それから10年程毎年来日。ちょうど、イッセイ・ミヤケやコム・デ・ギャルソンなど日本のファッションブランドが花開いたところでも刺激的だったという。久々の来日は親子揃ってとなった。今後のブランドの展開が楽しみである。

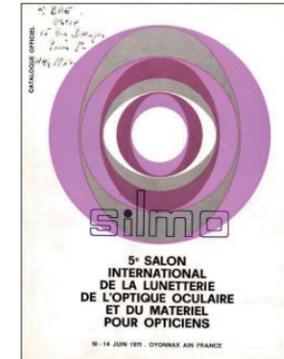
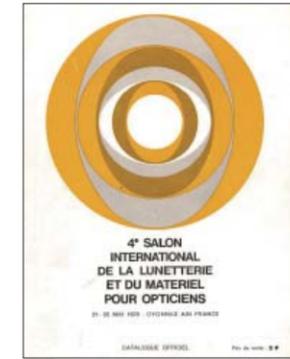
silmo2017

シルモ・パリ50年の歩み

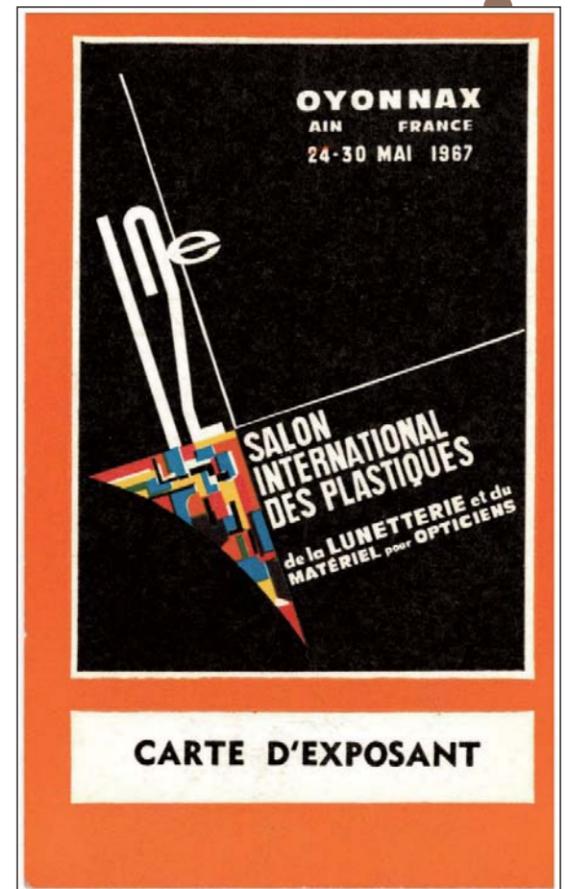
今年フランスの眼鏡展示会シルモが50周年の節目の年である。当時のポスターや出来事、会場写真に加え、シルモドール受賞ブランドなどをピックアップし、50年を振り返る。

協力/フランス見本市協会

5月1日にフランス・オヨナにて初めて眼鏡の展示会シルモが創設される。展示会SP（眼鏡製造業におけるフランスシリングとオプティシャン向け資材の国際展示会）の中で初開催され、1500㎡のスペースに58社が出展。シルモ会長Gabriel LAMY氏が就任。



1967



眼鏡製造業者たちがSPから独立して、展示会を「シルモ (Salon International de la Lunetterie, de l'optique oculaire et du Matériel pour Opticiens) 」と改称。

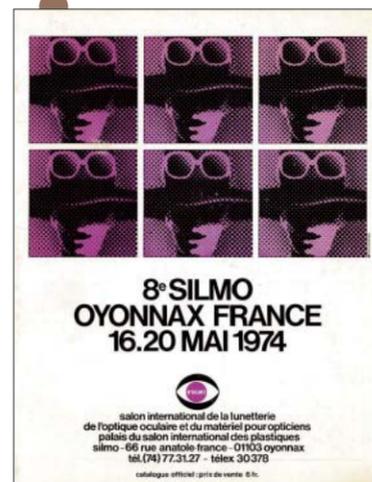
シルモ展は6000㎡の会場へ228社の出展者を迎え入れる。

シルモ展がパリで初開催される。4年ごとにパリとオヨナで交互にシルモ展を開催するようになる。

1970 1971 1972



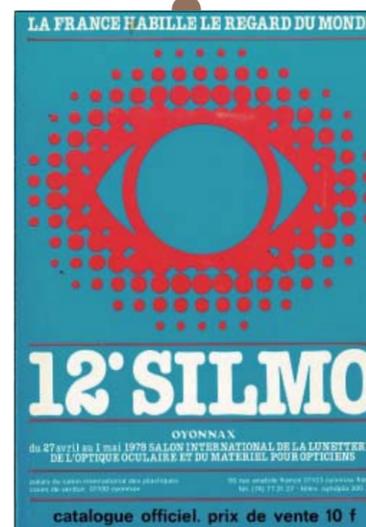
シルモ会長 Maurice JACQUOT氏が就任。



1974

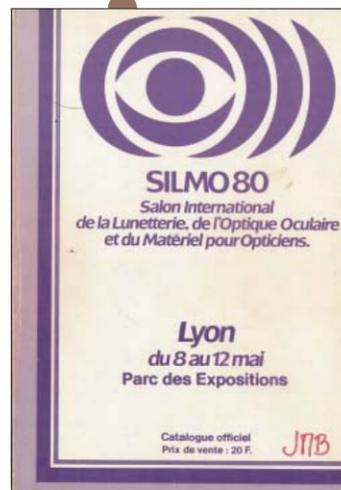
シルモ会長 Anatole TEMKINE氏が就任。

1976



1978

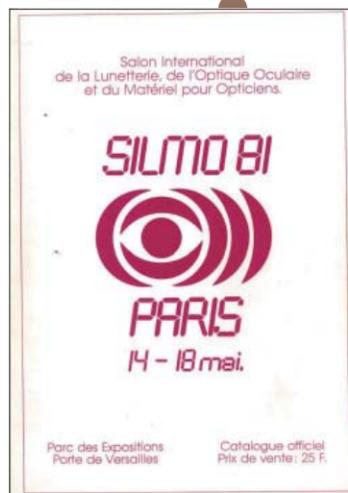
フランスの大手イベントオーガナイザーであるコメクスボジウム社とコラボレーションし、シルモ展がリヨンにて開催される。



1980

今後シルモ展をパリで開催することを決定。シルモ会長 Robert LAMY氏が就任。

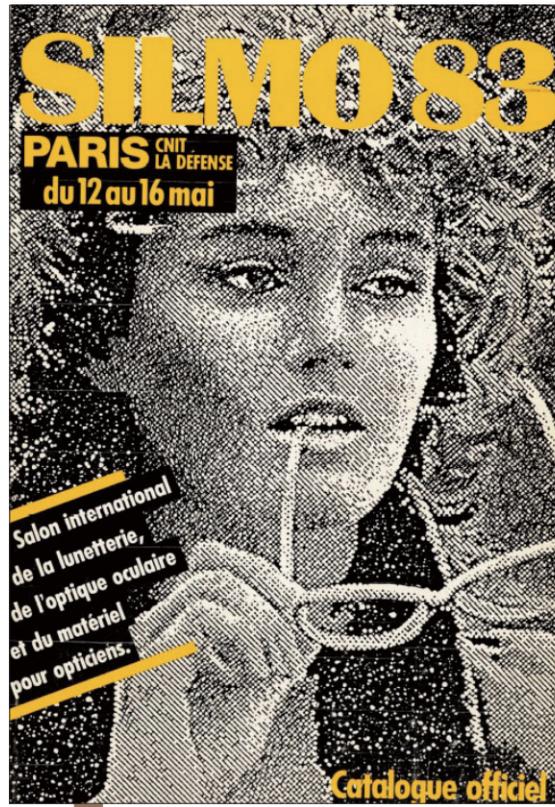
1981



シルモ展は開催日を二新する。「毎年秋に開催!」というスローガンを掲げ、以後秋に開催される。

1982

1983



1983

BRAND NEW FRAMES

ブランド新作 一挙紹介

海外の主要ブランドの新作をみると、ブランドの個性が色濃く反映された色鮮やかなフレームが数多く登場。長く人気が続いたクラシックスタイルから、いよいよ新たな時代への幕開けを感じる。

Photo / 青木健格 Aoki Takenori (WPP) Styling / 藤 裕美 Toh Hiromi



X.I.T [V105 Col.133]
価格4万1040円
@トゥーランドット



frost [PANORAMA Col.04]
価格3万8880円
@SOW



TRACTION PRODUCTIONS [PONZA Col.Cristal]
価格 4 万5360円
@LDJ ロジスティックス



VAVA [WL0018 Col.BLACK]
@VAVA EYEWEAR



YUICHI TOYAMA [U-076 Col.03]
価格 4 万1040円
@アトリエサンク



BARTON PERREIRA [SOL MATE Col.GOL/MGN/UGM]
価格 7 万3440円
@サンライズ



ISSEY MIYAKE EYES [EL-1 HEXAGON Col.WHS]
価格 4 万9680円
@金子眼鏡店 青山店



SIENS EYE CODE [EYE CODE 003 Col.0004]
<http://www.sienseyecode.com/>



tarian [AMEROT Col.EAM023628]
価格5万220円
@トゥーランドット



EYEVAN 7285 [151 Col.8053]
価格 5 万1840円
@アイヴァン 7285 トウキョウ



STEADY [STD-51 Col.3]
価格4万1040円
@STEADY



MASAHIRO MARUYAMA [MM-0034 Col.1]
価格5万4000円
@MASAHIRO MARUYAMA



MASUNAGA designed by Kenzo Takada [CALLA LILY Col.19]
価格7万200円
@MASUNAGA 1905



Jacque Durand [AIX M219 Col.137]
価格3万9960円
@JDO JAPAN



HENUA [NOE Col.S77]
価格 4 万4280円
@LDJ ロジスティックス



JAPONISM [JS-126 Col.03]
価格 3 万7800円
@グロス銀座



ジャン・フランソワ・レイ

(J.F.REY デザイナー)

初めてSILMOに参加したのは、1981年のLYONでの展示会です。パリに展示会場が移ったのが1983年で、ちょうど私の息子ダヴィッドが生まれたこの年の5月5日の次の日に、なんと私はシルモへ行ったのです!! 当時は5月に開催されていました。また、シルモの一番の思い出は何と言っても素晴らしい歴史的な場所である、ヴェルサイユ宮殿でシルモドールを受賞したことです。



ジェレミー・ミクリ・タリアン

(tarian デザイナー)

初めてのシルモは2010年、口ひげビジュアルで。とてもシンプルなブースで父方の祖母が私の初めての同僚! でした。とても印象的で、4日間多くの人に来てもらいましたが、準備なくぶっつけ本番でした。今回7回目のシルモになりますが、今でも全く色あせない展示会だと思います。



ヒューゴ・マーティン

(parasite デザイナー)

2002年初めてシルモへ出展したとき、まだスタッフが12名でパラサイトというブランドもまったく知られていませんでした。そんな会期中、ある参加者が私のブースを訪れて電話をしました。「まだパラサイトを知らないのか?」というような内容を話しているのを耳にしたとき、わずかな時間しかブースを構えていなかっただけにも関わらず、そのときはじめて、自分のブランドが生まれたことを感じました。また2016年に、サンダラスカテゴリーでシルモドールを受賞し、自分たちのブランドがプロフェッショナルに認められたと実感しました。このふたつの出来事がシルモでの素晴らしい思い出として印象に残っています。

シルモの思い出を聞きました COMMENT

眼鏡のデザイナーや長年シルモに向向いているバイヤーなど、国内外の20名にシルモの思い出を聞きました。シルモを機に転機が訪れたブランドや今となっては笑い話のようなコメントにシルモ50年の歴史を感じる。

増永泰典

(増永眼鏡 取締役専務)

なんといつても3年連続してシルモドール受賞式に参加したことが印象深いです。受賞式会場で発表を待っているのがとにかくイヤでした。賞は欲しいのですが、もし取ったら何てスピーチしようかとずっと考えていて、その場では楽しんだというより終わってホッとする毎年でした。笑。



マリオン・フロスト

(frost デザイナー)

初出展のとき、ディスプレイとして大きな透明のボールにたくさんのりんごを入れていました。そしたらそれに気がつかず男性が思いきりぶつかり、ボールのりんごがすべて会場のフロアにばらまかれて。それを多くのお客さまが拾ってくれました。それが大きな宣伝になってくれたの。笑。また、ドイツの工業デザイナーで有名なルイジ・コラーニ氏が私のブースへ来て「おめでとう。とても良いデザインだ!」と言ってくれたのです。彼はとても有名なデザイナーだったから、握手してくださいと私が言うと握手じゃなくキスをしようとキス。私はもう顔を洗えないわ! って思ったの。



大東駿介、ワンランク上の眼鏡を纏う



高級素材 アイウェア

高い理由がそこにはある

鼈甲、バッファローホーン、ゴールドなどの高級素材は上品でいて洗練された特別感がある。最近、若い人が掛けられるデザインも増えた。ここでは、スタイリング、工場取材、職人インタビューから高級ならではの魅力を探る。

Photo/神藤 剛 Shinto Takeshi Hair&Make-up/SHUTARO
Styling/藤 裕美 Toh Hiromi
Model/大東駿介 Daito Shunsuke Text/モード・オプティークMODE OPTIQUE
Design/高橋了 Takahashi Ryo

大澤鼈甲「KUAI F KUF-009 Col.白茨甲」(素材：鼈甲) 価格79万9200円@大澤鼈甲、ジャケット価格6万6960円、Tシャツ価格1万2960円@ともにマスターピースショールーム/Scye☎03-5414-3385

Published by
WORLD PHOTO PRESS
 Publisher of Mono magazine,
 World Wristwatch, Figure Oh,
 Mode Optique,
 and World Mook series.

Editorial & Corporate Headquarters;
 3-39-2 Nakano, Nakano-ku,
 Tokyo 164-8551 JAPAN
 Tel:03(5385)5666 Editorial
 Fax:03(5385)5617
 Tel:03(5385)5701 Circulation
 Fax:03(5385)5703

Publisher
 Kesaharu Imai

Editor
 Kaoruko Matsuzaki
 Motoi Nakayama

Staff Photographer
 Yasuji Yushina
 Tomoaki Tsuruda
 Takanori Aoki
 Masakuni Miyasaka

Designer
 Hidetaka Koyanagi (RAIDENSHA)
 Yuya Hashizume
 Tamao Ito (Tokyo Creative Labo)
 Ryo Takahashi
 Shunichi Sakai

Advertising Director
 Kazuo Tsuboi

Production Director
 Shunsuke Ogawa

Circulation Manager
 Hiroshi Sasagawa

DTP
 BASE
 Nagi

Print
 Dai Nippon Printing Co.,Ltd

Correspondents, Washington, D.C. Bureau
 (Pictorial Press International)
 Mikako Burks

ワールドフォトプレス ホームページ
<http://www.monomagazine.com>

最新作から定番まで、
 話題の眼鏡をいっしょに紹介。
 ファッションとしてのアイウェアを
 楽しみたい人、必読の一冊。

BACKNUMBER



ワールド・ムック1099
モード・オプティーク Vol.41
 特集
いよいよ個性の時代へ



ワールド・ムック1076
モード・オプティーク Vol.40
 特集
珈琲と眼鏡



ワールド・ムック1063
モード・オプティーク Vol.39
 特集
アイウェアの冒険



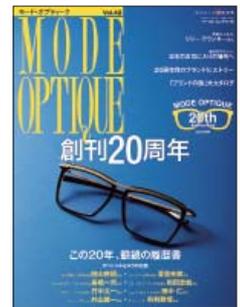
ワールド・ムック1039
モード・オプティーク Vol.38
 特集
ディスカバー・ジャパン



ワールド・ムック1148
モード・オプティーク Vol.44
 特集 **男のメガネ & 女のメガネ**



ワールド・ムック1135
モード・オプティーク Vol.43
 特集
創刊20周年 時代を創った眼鏡フレーム



ワールド・ムック1115
モード・オプティーク Vol.42
 特集
創刊20周年 この20年、眼鏡の歴史書

全国書店にて好評発売中

モード・オプティーク 定期購読のご案内

毎号、送料無料で確実にお届けします！

お近くに書店のない方、
 毎号確実に入手したい方は、
 便利な定期購読をご利用ください。



■購読料金
 1年(2冊)：1,832円(税込)

■新規定期購読のお申込方法
 ①お電話で(新規申込み専用ダイヤル) 0120-223-223
 (年中無休24時間営業)
 ②PCサイトから <http://fujisan.co.jp/mode-optique>
 ③携帯電話から <http://223223.jp/m/mode-optique>
 ④QRコードから 上記QRコードからアクセスしてください。

■お問合わせ
 雑誌のオンライン書店／～\ Fujisan.co.jp カスタマーサポート
 PC： <http://fujisan.co.jp/cs>
 または MAIL： cs@fujisan.co.jpにお問合わせください。

■注意事項
 ●お申込みは～\ Fujisan.co.jpとのご契約となり記載の利用規約に準じます。●お支払いのタイミングによってはご希望の開始号が後ろにずれる場合がございます。●お届けは発売日前後の到着を予定しておりますが、配送事情により遅れる場合がございます。●定期購読は原則として途中解約はできませんので予めご了承ください。

WORLD M O O K
 ワールド・ムック1165

MODE OPTIQUE
 モード・オプティーク
Vol.45

平成30年1月20日発行

発行人●今井今朝春
 編集人●松崎 薫子
 発行所●株式会社ワールドフォトプレス
 〒164-8551 東京都中野区中野3-39-2
 編集部● TEL 03(5385)5666 FAX 03(5385)5617
 広告営業部● 03(5385)1350 03(5385)1348
 販売部● 03(5385)5701 03(5385)5703
 印刷所●大日本印刷株式会社
 © WPP 2018(禁・無断転載)

●造本には充分注意しておりますが、万一、落丁・乱本などの不良品がありましたら小社[販売部]宛にお送りください。送料小社負担にてお取り替えいたします。
 ●本誌掲載記事の無断転載、複製、転写を禁じます。●本文中の価格は消費税込みの総額表示です。●本誌に掲載されている商品、価格、問い合わせ先は2017年11月現在の調べによるものです。